

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月20日更新

事務事業名		栄典(叙位、叙勲)事務事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康	所属部	総務部	課長名	塚本 健洋
	施策	2	行政改革の推進	所属課	秘書政策課	担当者名	森 一樹
	施策の柱	4	職員の人材育成と効果的な組織運営	所属班	秘書政策班	(内線)	1232
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> 公選による市町長、市町議会議員など、推薦要件を満たしている対象者について、地方自治功労関係(春秋叙勲・高齢者叙勲・死亡叙勲、叙位、褒賞)の上申を行う。 市の発展に卓絶した功績があり、郷土の誇りとして尊敬に値する者に対し、名誉市民、市民栄誉賞を授与する。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> 春秋叙勲潜在候補者の作成報告(春4月29日現在、秋11月3日現在) 春秋(高齢者)叙勲：候補者の推薦(履歴照会等)、候補者決定後の上申(功績調書、履歴書、刑罰調書、事業概要調書等の作成)、決定後の伝達 死亡叙勲、叙位：死亡後累への連絡、1週間以内の上申(功績調書、履歴書、刑罰調書、事業概要調書等の作成)、決定後遺族へ連絡叙勲(叙位)の伝達 褒賞：公益のため私財を寄附し功績顕著な団体・個人に対し、寄附受領後速やかに上申 名誉市民、市長が市議会の同意を得て選定 市民栄誉賞：選考委員会において選考し、市長が決定
【主な予算費目】	予算なし
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
<ul style="list-style-type: none"> 叙勲の潜在候補者を報告するとともに、高齢者叙勲、死亡叙勲の上申を行った。 平成26年度実績3名 平成27年度実績2名 平成28年度実績2名 平成29年度実績3名 平成30年度実績3名 令和元年度実績1名 令和2年度実績なし 	<ul style="list-style-type: none"> 叙勲の潜在候補者を報告するとともに、地方自治功労への該当者の関係書類を作成し上申を行う。 	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
→ ア: 叙勲の申請件数	件	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
市町長、市町議会議員であった者で叙勲候補に該当する者	→ ア: 叙勲潜在候補者数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
永年にわたる自治功労に対しての叙位、叙勲の授与を受ける。	→ ア: 申請に対する受賞者の割合	%
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
「地方自治の育成発展に貢献し、功績顕著な者であって推薦基準を満たし、叙勲されるにふさわしいと認められる者」であるため、特別な事情がなければ、受賞となる。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込
① 活動指標	ア	件	3	1	2	2	1	1	1	1
② 対象指標	ア	人	27	28	30	27	30	30	30	30
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	1	2	1	1	1	
延べ業務時間	時間	230	165	0	200	0	0	0		
(B) 人件費計	千円	906	653	0	788	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	906	653	0	788	0	0	0		

事務事業名	栄典（叙位、叙勲）事務事業	所属部	総務部	所属課	秘書政策課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】・叙勲の選考は、総務省でおこなわれるため向上の余地はない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 【前年度内容】・他に類似のものがないため。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】・国への上申手続きのみであり、事業費が発生しない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】・定期的な潜在候補の報告や死亡の際の1週間での上申など限られているため。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 【前年度内容】・叙勲申請対象が国基準によるものであるため。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

【前年度内容】国基準に則り適正に事務を行っている

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						